

令和 6 年度 病院事業決算状況

都道府県名 宮崎県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	宮崎病院	2
-	延岡病院	3
-	日南病院	4
宮崎市	宮崎市立田野病院	5
日南市	日南市立中部病院	6
小林市	小林市立病院	7
串間市	市民病院	8
えびの市	えびの市立病院	9
高原町	国保高原病院	10
都農町	都農町国民健康保険病院	11
椎葉村	椎葉村国民健康保険病院	12
美郷町	西郷病院	13
西臼杵広域行政事務組合	高千穂町国民健康保険病院	14
西臼杵広域行政事務組合	日之影町国民健康保険病院	15
西臼杵広域行政事務組合	五ヶ瀬町国民健康保険病院	16

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名					
病院名 宮崎病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透し未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	100,580 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救急が感災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	459	77.5	75.5	75.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	35	57.8	74.9	68.3
感染症	8	42.6	-	-
計	502	75.6	74.2	74.0
平均在院日数(一般病床のみ)		11.0	10.8	12.2

設立団体の状況		
人口(人)	1,069,576	
決算規模(千円)	666,648,696	
標準財政規模(千円)	338,128,930	
財政力指数	0.36028	
経常収支比率(%)	91.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.6
	将来負担比率(%)	107.6

損益計算書 (千円・%)					
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均	
総収益	19,993,417				
1 経常収益	19,993,417				
(1) 医業収益	16,310,658				
(うち修正医業収益)	16,007,186				
入院収益	10,758,275				
外来収益	5,004,727				
診療収入計	15,763,002				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	547,656				
(うち他会計負担金)	303,472				
(2) 医業外収益	3,682,759				
(うち国・都道府県補助金)	30,010				
(うち他会計補助・負担金)	2,609,173				
(うち長期前受金戻入)	988,424				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	20,809,505				
2 経常費用	20,809,505				
(1) 医業費用	19,715,714				
職員給与費	9,086,634	55.7	60.8	53.3	
材料費	5,391,168	33.1	27.1	33.0	
(うち薬品費)	3,537,939	21.7	14.8	18.6	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,850,186	11.3	11.8	14.1	
減価償却費	2,348,410	14.4	8.6	7.4	
経費	2,764,772	17.0	22.0	17.2	
(うち委託料)	1,874,300	11.5	11.8	10.2	
研究研修費	61,377				
資産減耗費	63,353				
(2) 医業外費用	1,093,791				
(うち支払利息)	107,805	0.7	0.9	0.7	
(3) 特別損失	-				
経常損益	-816,088				
純損益	-816,088				
累積欠損金	6,580,809				
経常収支比率	96.1		93.0	94.3	
医業収支比率	82.7		83.9	89.6	
修正医業収支比率	81.2		81.0	87.6	
他会計繰入金対経常収益比率	14.6		12.2	7.6	
他会計繰入金対医業収益比率	17.9		14.3	8.5	
他会計繰入金対総収益比率	14.6		12.3	7.6	
実質収益対経常費用比率	82.1		81.6	87.1	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	80,001,409
1 固定資産	58,737,857
(1) 有形固定資産	51,101,946
(2) 無形固定資産	3,250,620
(3) 投資その他の資産	4,385,291
2 流動資産	21,263,552
(1) 現金及び預金	9,122,236
(2) 未収金及び未収収益	6,218,077
(3) 貸倒引当金()	37,926
(4) 貯蔵品	499,047
3 繰延資産	-
負債合計	79,821,021
1 固定負債	54,992,326
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	44,338,961
(2) その他の企業債	600
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	5,000,000
(5) 引当金	4,720,274
(6) リース債務	932,491
2 流動負債	18,926,792
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,334,689
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,368,997
(6) リース債務	107,225
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	7,729,952
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,901,903
(1) 長期前受金	48,504,327
(2) 長期前受金収益化累計額()	42,602,424
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	180,388
1 本金	12,743,396
2 剰余金	-12,563,008
(1) 資本剰余金	110,476
(2) 利益剰余金	-12,673,484
負債・資本合計	80,001,409
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,926,760	2,912,645
資本勘定繰入	1,001,122	1,001,122
計	2,927,882	3,913,767

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	37.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名					
延岡病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透し未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	35,262 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	406	70.9	63.6	68.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	410	70.2	63.0	67.7
平均在院日数(一般病床のみ)		12.9	12.1	12.5

設立団体の状況		
人口(人)	1,069,576	
決算規模(千円)	666,648,696	
標準財政規模(千円)	338,128,930	
財政力指数	0.36028	
経常収支比率(%)	91.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.6
	将来負担比率(%)	107.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,507,409			
1 経常収益	14,507,409			
(1) 医業収益	12,357,825			
(うち修正医業収益)	12,068,679			
入院収益	9,021,498			
外来収益	2,948,972			
診療収入計	11,970,470			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	387,355			
(うち他会計負担金)	289,146			
(2) 医業外収益	2,149,584			
(うち国・都道府県補助金)	8,737			
(うち他会計補助・負担金)	1,487,097			
(うち長期前受金戻入)	636,749			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,522,399			
2 経常費用	14,522,399			
(1) 医業費用	13,751,764			
職員給与費	6,368,340	51.5	60.8	58.1
材料費	4,241,173	34.3	27.1	29.1
(うち薬品費)	2,422,395	19.6	14.8	15.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,815,945	14.7	11.8	12.7
減価償却費	940,418	7.6	8.6	8.1
経費	2,135,965	17.3	22.0	18.7
(うち委託料)	1,253,604	10.1	11.8	10.4
研究研修費	46,585			
資産減耗費	19,283			
(2) 医業外費用	770,635			
(うち支払利息)	74,322	0.6	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	-14,990			
純損益	-14,990			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.9		93.0	93.4
医業収支比率	89.9		83.9	87.3
修正医業収支比率	87.8		81.0	84.5
他会計繰入金対経常収益比率	12.2		12.2	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	14.4		14.3	11.0
他会計繰入金対総収益比率	12.2		12.3	9.8
実質収益対経常費用比率	87.7		81.6	84.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	80,001,409
1 固定資産	58,737,857
(1) 有形固定資産	51,101,946
(2) 無形固定資産	3,250,620
(3) 投資その他の資産	4,385,291
2 流動資産	21,263,552
(1) 現金及び預金	9,122,236
(2) 未収金及び未収収益	6,218,077
(3) 貸倒引当金()	37,926
(4) 貯蔵品	499,047
3 繰延資産	-
負債合計	79,821,021
1 固定負債	54,992,326
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	44,338,961
(2) その他の企業債	600
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	5,000,000
(5) 引当金	4,720,274
(6) リース債務	932,491
2 流動負債	18,926,792
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,334,689
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,368,997
(6) リース債務	107,225
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	7,729,952
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,901,903
(1) 長期前受金	48,504,327
(2) 長期前受金収益化累計額()	42,602,424
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	180,388
1 本金	12,743,396
2 剰余金	-12,563,008
(1) 資本剰余金	110,476
(2) 利益剰余金	-12,673,484
負債・資本合計	80,001,409
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,047,839	1,776,243
資本勘定繰入	928,649	928,649
計	1,976,488	2,704,892

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	37.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名					
病院名 日南病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	23,668 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	20	指定病院の状況	救臨感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	225	65.9	65.5	62.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	17.3	-
計	229	64.9	64.9	62.0
平均在院日数(一般病床のみ)		14.3	15.1	15.8

設立団体の状況		
人口(人)	1,069,576	
決算規模(千円)	666,648,696	
標準財政規模(千円)	338,128,930	
財政力指数	0.36028	
経常収支比率(%)	91.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.6
	将来負担比率(%)	107.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,141,185			
1 経常収益	6,141,185			
(1) 医業収益	4,947,839			
(うち修正医業収益)	4,894,499			
入院収益	3,624,145			
外来収益	1,203,619			
診療収入計	4,827,764			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	120,075			
(うち他会計負担金)	53,340			
(2) 医業外収益	1,193,346			
(うち国・都道府県補助金)	2,576			
(うち他会計補助・負担金)	811,707			
(うち長期前受金戻入)	372,803			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,271,640			
2 経常費用	7,271,640			
(1) 医業費用	6,930,870			
職員給与費	3,800,319	76.8	60.8	66.2
材料費	1,202,745	24.3	27.1	21.2
(うち薬品費)	624,056	12.6	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	577,061	11.7	11.8	10.1
減価償却費	556,038	11.2	8.6	9.5
経費	1,344,644	27.2	22.0	28.6
(うち委託料)	882,867	17.8	11.8	14.4
研究研修費	17,807			
資産減耗費	9,317			
(2) 医業外費用	340,770			
(うち支払利息)	63,721	1.3	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-1,130,455			
純損益	-1,130,455			
累積欠損金	11,828,093			
経常収支比率	84.5		93.0	89.9
医業収支比率	71.4		83.9	79.3
修正医業収支比率	70.6		81.0	75.9
他会計繰入金対経常収益比率	14.1		12.2	14.1
他会計繰入金対医業収益比率	17.5		14.3	17.0
他会計繰入金対総収益比率	14.1		12.3	14.6
実質収益対経常費用比率	72.6		81.6	77.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	80,001,409
1 固定資産	58,737,857
(1) 有形固定資産	51,101,946
(2) 無形固定資産	3,250,620
(3) 投資その他の資産	4,385,291
2 流動資産	21,263,552
(1) 現金及び預金	9,122,236
(2) 未収金及び未収収益	6,218,077
(3) 貸倒引当金()	37,926
(4) 貯蔵品	499,047
3 繰延資産	-
負債合計	79,821,021
1 固定負債	54,992,326
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	44,338,961
(2) その他の企業債	600
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	5,000,000
(5) 引当金	4,720,274
(6) リース債務	932,491
2 流動負債	18,926,792
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,334,689
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,368,997
(6) リース債務	107,225
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	7,729,952
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,901,903
(1) 長期前受金	48,504,327
(2) 長期前受金収益化累計額()	42,602,424
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	180,388
1 本金	12,743,396
2 剰余金	-12,563,008
(1) 資本剰余金	110,476
(2) 利益剰余金	-12,673,484
負債・資本合計	80,001,409
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	633,264	865,047
資本勘定繰入	682,339	5,682,339
計	1,315,603	6,547,386

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	37.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名		宮崎市			
病院名		宮崎市立田野病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,129 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救 感		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	42	78.5	77.8	77.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	42	78.5	77.8	77.6
平均在院日数(一般病床のみ)		29.3	26.9	26.7

設立団体の状況		
人口(人)	401,339	
決算規模(千円)	203,585,950	
標準財政規模(千円)	94,716,911	
財政力指数	0.69	
経常収支比率(%)	92.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.9
	将来負担比率(%)	23.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	873,051			
1 経常収益	872,657			
(1) 医業収益	704,308			
(うち修正医業収益)	664,620			
入院収益	482,609			
外来収益	163,199			
診療収入計	645,808			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	58,500			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	168,349			
(うち国・都道府県補助金)	240			
(うち他会計補助・負担金)	160,662			
(うち長期前受金戻入)	5,622			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	394			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	871,584			
2 経常費用	866,603			
(1) 医業費用	824,654			
職員給与費	-	-	60.8	92.5
材料費	-	-	27.1	14.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.8
減価償却費	69,793	9.9	8.6	13.4
経費	754,547	107.1	22.0	47.6
(うち委託料)	242,521	34.4	11.8	23.6
研究研修費	16			
資産減耗費	298			
(2) 医業外費用	41,949			
(うち支払利息)	11,617	1.6	0.9	0.9
(3) 特別損失	4,981			
損益	6,054			
純損益	1,467			
累積欠損金	213,361			
経常収支比率	100.7		93.0	95.6
医業収支比率	85.4		83.9	59.3
修正医業収支比率	80.6		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	23.0		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	28.4		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	22.9		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	77.6		81.6	60.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,648,963
1 固定資産	1,030,132
(1) 有形固定資産	1,028,457
(2) 無形固定資産	1,675
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	618,831
(1) 現金及び預金	500,493
(2) 未収金及び未収収益	118,350
(3) 貸倒引当金()	12
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	875,611
1 固定負債	769,194
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	619,194
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	150,000
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	65,561
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	31,554
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	30,000
(5) 引当金	-
(6) リース債務	570
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,332
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	40,856
(1) 長期前受金	57,645
(2) 長期前受金収益化累計額()	16,789
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	773,352
1 資本金	975,533
2 剰余金	-202,181
(1) 資本剰余金	11,180
(2) 利益剰余金	-213,361
負債・資本合計	1,648,963
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	198,895	200,350
資本勘定繰入	16,706	16,706
計	215,601	217,056

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	30.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名	日南市				
病院名	日南市立中部病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,377 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	88	70.9	66.1	67.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	88	70.9	66.1	67.0
平均在院日数(一般病床のみ)		13.5	15.9	19.2

設立団体の状況		
人口(人)	50,848	
決算規模(千円)	36,466,805	
標準財政規模(千円)	15,851,357	
財政力指数	0.40	
経常収支比率(%)	93.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.4
	将来負担比率(%)	51.9

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	1,820,871				
1 経常収益	1,795,535				
(1) 医業収益	1,365,593				
(うち修正医業収益)	1,316,718				
入院収益	766,313				
外来収益	456,815				
診療収入計	1,223,128				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	142,465				
(うち他会計負担金)	48,875				
(2) 医業外収益	429,942				
(うち国・都道府県補助金)	5,602				
(うち他会計補助・負担金)	335,749				
(うち長期前受金戻入)	73,686				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	25,336				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	1,845,754				
2 経常費用	1,843,918				
(1) 医業費用	1,790,028				
職員給与費	1,192,755	87.3	60.8	82.0	
材料費	161,067	11.8	27.1	14.2	
(うち薬品費)	67,913	5.0	14.8	7.3	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	73,440	5.4	11.8	6.1	
減価償却費	109,264	8.0	8.6	12.5	
経費	318,711	23.3	22.0	34.4	
(うち委託料)	105,192	7.7	11.8	16.9	
研究研修費	2,276				
資産減耗費	5,955				
(2) 医業外費用	53,890				
(うち支払利息)	11,991	0.9	0.9	1.2	
(3) 特別損失	1,836				
経常損	-48,383				
純損	-24,883				
累積欠損金	219,876				
経常収支比率	97.4		93.0	93.1	
医業収支比率	76.3		83.9	69.6	
修正医業収支比率	73.6		81.0	65.2	
他会計繰入金対経常収益比率	21.4		12.2	26.7	
他会計繰入金対医業収益比率	28.2		14.3	38.3	
他会計繰入金対総収益比率	21.1		12.3	26.8	
実質収益対経常費用比率	76.5		81.6	68.2	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,846,480
1 固定資産	1,520,403
(1) 有形固定資産	1,519,059
(2) 無形固定資産	1,344
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	326,077
(1) 現金及び預金	105,902
(2) 未収金及び未収収益	196,269
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	23,878
3 繰延資産	-
負債合計	1,504,706
1 固定負債	898,064
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	671,460
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	226,604
(6) リース債務	-
2 流動負債	337,850
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	162,656
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	95,976
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	78,164
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	268,792
(1) 長期前受金	1,536,878
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,268,086
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	341,774
1 本金	525,144
2 剰余金	-183,370
(1) 資本剰余金	5,916
(2) 利益剰余金	-189,286
負債・資本合計	1,846,480
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	265,756	384,624
資本勘定繰入	101,676	125,548
計	367,432	510,172

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	16.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名	小林市				
病院名	小林市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	12,077 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	17	指定病院の状況	救臨感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	143	64.1	61.9	63.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	20.8	19.1	48.6
計	147	62.9	60.8	62.9
平均在院日数(一般病床のみ)		16.6	18.1	17.8

設立団体の状況		
人口(人)	43,670	
決算規模(千円)	30,869,890	
標準財政規模(千円)	14,568,633	
財政力指数	0.39	
経常収支比率(%)	94.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.5
	将来負担比率(%)	56.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,694,198			
1 経常収益	2,694,198			
(1) 医業収益	2,189,422			
(うち修正医業収益)	2,125,337			
入院収益	1,634,529			
外来収益	442,427			
診療収入計	2,076,956			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	112,466			
(うち他会計負担金)	64,085			
(2) 医業外収益	504,776			
(うち国・都道府県補助金)	10,146			
(うち他会計補助・負担金)	365,333			
(うち長期前受金戻入)	92,787			
(うち資本費繰入収益)	24,471			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,861,543			
2 経常費用	2,861,543			
(1) 医業費用	2,720,004			
職員給与費	1,702,129	77.7	60.8	69.3
材料費	479,186	21.9	27.1	18.4
(うち薬品費)	306,101	14.0	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	167,600	7.7	11.8	9.1
減価償却費	174,581	8.0	8.6	10.8
経費	354,960	16.2	22.0	29.9
(うち委託料)	196,705	9.0	11.8	13.7
研究研修費	6,656			
資産減耗費	2,492			
(2) 医業外費用	141,539			
(うち支払利息)	42,622	1.9	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-167,345			
純損失	-167,345			
累積欠損金	1,443,783			
経常収支比率	94.2		93.0	91.6
医業収支比率	80.5		83.9	77.4
修正医業収支比率	78.1		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	15.9		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	19.6		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	15.9		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	79.1		81.6	75.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	4,072,712
1 固定資産	3,560,818
(1) 有形固定資産	3,558,220
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	2,598
2 流動資産	511,894
(1) 現金及び預金	154,720
(2) 未収金及び未収収益	336,550
(3) 貸倒引当金()	1,837
(4) 貯蔵品	22,169
3 繰延資産	-
負債合計	4,753,210
1 固定負債	3,138,759
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,006,755
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	613,000
(5) 引当金	519,004
(6) リース債務	-
2 流動負債	627,004
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	168,542
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	90,000
(5) 引当金	113,288
(6) リース債務	3,490
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	242,773
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	987,447
(1) 長期前受金	2,717,154
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,729,707
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-680,498
1 資本金	643,584
2 剰余金	-1,324,082
(1) 資本剰余金	119,701
(2) 利益剰余金	-1,443,783
負債・資本合計	4,072,712
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	680,498
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	507,888	429,418
資本勘定繰入	61,989	61,989
計	569,877	491,407

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	65.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名	串間市				
病院名	市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	8,589 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	99	78.2	76.6	59.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	78.2	76.6	59.6
平均在院日数(一般病床のみ)		23.1	22.6	21.4

設立団体の状況		
人口(人)	16,822	
決算規模(千円)	16,764,867	
標準財政規模(千円)	7,012,436	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	93.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.4
	将来負担比率(%)	43.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,109,831			
1 経常収益	2,109,831			
(1) 医業収益	1,668,476			
(うち修正医業収益)	1,627,091			
入院収益	1,082,821			
外来収益	483,358			
診療収入計	1,566,179			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	102,297			
(うち他会計負担金)	41,385			
(2) 医業外収益	441,355			
(うち国・都道府県補助金)	8,553			
(うち他会計補助・負担金)	335,418			
(うち長期前受金戻入)	59,591			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,091,212			
2 経常費用	2,090,538			
(1) 医業費用	1,995,076			
職員給与費	1,165,970	69.9	60.8	82.0
材料費	250,521	15.0	27.1	14.2
(うち薬品費)	133,704	8.0	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	116,817	7.0	11.8	6.1
減価償却費	146,019	8.8	8.6	12.5
経費	430,142	25.8	22.0	34.4
(うち委託料)	220,645	13.2	11.8	16.9
研究研修費	2,424			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	95,462			
(うち支払利息)	29,732	1.8	0.9	1.2
(3) 特別損失	674			
経常損益	19,293			
純損益	18,619			
累積欠損金	1,836,590			
経常収支比率	100.9		93.0	93.1
医業収支比率	83.6		83.9	69.6
修正医業収支比率	81.6		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	17.9		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	22.6		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	17.9		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	82.9		81.6	68.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	2,706,519
1 固定資産	2,428,216
(1) 有形固定資産	2,421,202
(2) 無形固定資産	378
(3) 投資その他の資産	6,636
2 流動資産	278,303
(1) 現金及び預金	30,840
(2) 未収金及び未収収益	238,809
(3) 貸倒引当金()	265
(4) 貯蔵品	8,919
3 繰延資産	-
負債合計	3,643,143
1 固定負債	2,436,695
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,254,658
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	920,600
(5) 引当金	250,216
(6) リース債務	11,221
2 流動負債	446,901
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	169,593
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	100,000
(5) 引当金	60,786
(6) リース債務	10,153
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	102,849
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	759,547
(1) 長期前受金	1,887,828
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,128,281
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-936,624
1 本金	543,019
2 剰余金	-1,479,643
(1) 資本剰余金	356,947
(2) 利益剰余金	-1,836,590
負債・資本合計	2,706,519
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	936,624
資本不足額(繰延収益控除後)()	177,077
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	376,803	376,803
資本勘定繰入	89,578	89,578
計	466,381	466,381

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	286,660	17.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	110.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名	えびの市				
病院名	えびの市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,456 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	50	65.2	55.6	50.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	65.2	55.6	50.6
平均在院日数(一般病床のみ)		38.6	30.6	29.2

設立団体の状況	
人口(人)	17,638
決算規模(千円)	13,883,767
標準財政規模(千円)	6,765,513
財政力指数	0.36
経常収支比率(%)	99.9
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	739,988			
1 経常収益	739,988			
(1) 医業収益	554,604			
(うち修正医業収益)	490,944			
入院収益	289,065			
外来収益	184,963			
診療収入計	474,028			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	80,576			
(うち他会計負担金)	63,660			
(2) 医業外収益	185,384			
(うち国・都道府県補助金)	160			
(うち他会計補助・負担金)	163,952			
(うち長期前受金戻入)	14,630			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	894,839			
2 経常費用	894,839			
(1) 医業費用	869,845			
職員給与費	529,466	95.5	60.8	82.0
材料費	116,433	21.0	27.1	14.2
(うち薬品費)	92,792	16.7	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	21,272	3.8	11.8	6.1
減価償却費	59,999	10.8	8.6	12.5
経費	161,862	29.2	22.0	34.4
(うち委託料)	97,012	17.5	11.8	16.9
研究研修費	1,054			
資産減耗費	1,031			
(2) 医業外費用	24,994			
(うち支払利息)	-	-	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	-154,851			
純損益	-154,851			
累積欠損金	905,186			
経常収支比率	82.7		93.0	93.1
医業収支比率	63.8		83.9	69.6
修正医業収支比率	56.4		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	30.8		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	41.0		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	30.8		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	57.3		81.6	68.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	769,593
1 固定資産	453,619
(1) 有形固定資産	448,827
(2) 無形固定資産	4,768
(3) 投資その他の資産	24
2 流動資産	315,974
(1) 現金及び預金	229,602
(2) 未収金及び未収収益	76,433
(3) 貸倒引当金()	264
(4) 貯蔵品	9,203
3 繰延資産	-
負債合計	491,660
1 固定負債	346,569
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	346,569
(6) リース債務	-
2 流動負債	75,378
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	43,812
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	29,072
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	69,713
(1) 長期前受金	175,277
(2) 長期前受金収益化累計額()	105,564
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	277,933
1 資本金	1,164,390
2 剰余金	-886,457
(1) 資本剰余金	3,153
(2) 利益剰余金	-889,610
負債・資本合計	769,593
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	227,097	227,612
資本勘定繰入	4,843	4,843
計	231,940	232,455

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	163.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名	高原町				
病院名	国保高原病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,051 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	56	61.0	52.3	42.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	56	61.0	52.3	42.4
平均在院日数(一般病床のみ)		24.6	29.7	27.4

設立団体の状況		
人口(人)	8,639	
決算規模(千円)	7,238,634	
標準財政規模(千円)	3,725,264	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	92.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	837,657			
1 経常収益	836,495			
(1) 医業収益	613,699			
(うち修正医業収益)	575,708			
入院収益	403,375			
外来収益	146,237			
診療収入計	549,612			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	64,087			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	222,796			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	199,223			
(うち長期前受金戻入)	21,056			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,162			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	863,368			
2 経常費用	855,467			
(1) 医業費用	818,194			
職員給与費	409,839	66.8	60.8	82.0
材料費	67,967	11.1	27.1	14.2
(うち薬品費)	30,282	4.9	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	35,756	5.8	11.8	6.1
減価償却費	45,403	7.4	8.6	12.5
経費	290,259	47.3	22.0	34.4
(うち委託料)	101,077	16.5	11.8	16.9
研究研修費	2,968			
資産減耗費	1,758			
(2) 医業外費用	37,273			
(うち支払利息)	14,428	2.4	0.9	1.2
(3) 特別損失	7,901			
経常損	-18,972			
純損	-25,711			
累積欠損金	25,711			
経常収支比率	97.8		93.0	93.1
医業収支比率	75.0		83.9	69.6
修正医業収支比率	70.4		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	28.4		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	38.7		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	28.3		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	70.1		81.6	68.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,057,863
1 固定資産	959,563
(1) 有形固定資産	959,303
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	260
2 流動資産	98,300
(1) 現金及び預金	36
(2) 未収金及び未収収益	102,541
(3) 貸倒引当金()	9,209
(4) 貯蔵品	4,932
3 繰延資産	-
負債合計	911,648
1 固定負債	659,777
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	595,595
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	64,182
(6) リース債務	-
2 流動負債	164,506
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	55,925
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	35,560
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	40,280
(8) 未払金及び未払費用	32,741
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	87,365
(1) 長期前受金	491,776
(2) 長期前受金収益化累計額()	404,411
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	146,215
1 本金	32,012
2 剰余金	114,203
(1) 資本剰余金	3,898
(2) 利益剰余金	110,305
負債・資本合計	1,057,863
不良債務	10,281
実質資金不足額	10,281
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	237,214	237,214
資本勘定繰入	30,127	30,127
計	267,341	267,341

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	10,281	1.7
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	4.2
健全化法上の資金不足額(千円)	10,281
健全化法上の資金不足比率(%)	1.6
地財法上の資金不足額(千円)	10,281
地財法上の資金不足比率(%)	1.6

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名	都農町				
病院名	都農町国民健康保険病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,978 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救 感		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	61	61.2	58.8	43.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	23.3	33.3	125.1
計	65	58.9	57.2	48.0
平均在院日数(一般病床のみ)		19.2	23.6	14.7

設立団体の状況		
人口(人)	9,906	
決算規模(千円)	10,113,495	
標準財政規模(千円)	4,094,149	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	93.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,106,649			
1 経常収益	1,102,897			
(1) 医業収益	887,294			
(うち修正医業収益)	849,457			
入院収益	477,336			
外来収益	289,240			
診療収入計	766,576			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	120,718			
(うち他会計負担金)	37,837			
(2) 医業外収益	215,603			
(うち国・都道府県補助金)	4,057			
(うち他会計補助・負担金)	138,957			
(うち長期前受金戻入)	64,863			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,752			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,146,721			
2 経常費用	1,146,655			
(1) 医業費用	1,113,074			
職員給与費	669,000	75.4	60.8	82.0
材料費	114,640	12.9	27.1	14.2
(うち薬品費)	40,559	4.6	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	63,684	7.2	11.8	6.1
減価償却費	100,520	11.3	8.6	12.5
経費	227,751	25.7	22.0	34.4
(うち委託料)	115,888	13.1	11.8	16.9
研究研修費	697			
資産減耗費	466			
(2) 医業外費用	33,581			
(うち支払利息)	5,060	0.6	0.9	1.2
(3) 特別損失	66			
経常損益	-43,758			
純損益	-40,072			
累積欠損金	40,072			
経常収支比率	96.2		93.0	93.1
医業収支比率	79.7		83.9	69.6
修正医業収支比率	76.3		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	16.0		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	19.9		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	16.0		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	80.8		81.6	68.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	2,660,667
1 固定資産	1,585,751
(1) 有形固定資産	1,585,751
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,074,916
(1) 現金及び預金	935,831
(2) 未収金及び未収収益	128,425
(3) 貸倒引当金()	746
(4) 貯蔵品	11,405
3 繰延資産	-
負債合計	1,984,935
1 固定負債	1,441,091
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,199,493
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	241,598
(6) リース債務	-
2 流動負債	182,416
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	77,278
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	38,934
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	66,204
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	361,428
(1) 長期前受金	1,237,116
(2) 長期前受金収益化累計額()	875,688
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	675,732
1 資本金	376,460
2 剰余金	299,272
(1) 資本剰余金	40,469
(2) 利益剰余金	258,803
負債・資本合計	2,660,667
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	176,794	176,794
資本勘定繰入	58,525	58,525
計	235,319	235,319

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	4.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名	椎葉村				
病院名	椎葉村国民健康保険病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,173 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救臨 へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	30	36.9	40.1	35.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	36.9	40.1	35.9
平均在院日数(一般病床のみ)		15.0	17.0	16.0

設立団体の状況		
人口(人)	2,503	
決算規模(千円)	7,844,319	
標準財政規模(千円)	3,153,571	
財政力指数	0.18	
経常収支比率(%)	82.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	489,107			
1 経常収益	489,107			
(1) 医業収益	307,032			
(うち修正医業収益)	270,738			
入院収益	111,238			
外来収益	135,089			
診療収入計	246,327			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	60,705			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	182,075			
(うち国・都道府県補助金)	1,596			
(うち他会計補助・負担金)	158,140			
(うち長期前受金戻入)	21,231			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	487,940			
2 経常費用	487,940			
(1) 医業費用	474,925			
職員給与費	298,018	97.1	60.8	92.5
材料費	76,818	25.0	27.1	14.2
(うち薬品費)	59,051	19.2	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	14,355	4.7	11.8	5.8
減価償却費	37,539	12.2	8.6	13.4
経費	61,018	19.9	22.0	47.6
(うち委託料)	22,262	7.3	11.8	23.6
研究研修費	952			
資産減耗費	580			
(2) 医業外費用	13,015			
(うち支払利息)	1,073	0.3	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	1,167			
純損益	1,167			
累積欠損金	293,848			
経常収支比率	100.2		93.0	95.6
医業収支比率	64.6		83.9	59.3
修正医業収支比率	57.0		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	39.8		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	63.3		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	39.8		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	60.4		81.6	60.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,050,263
1 固定資産	483,724
(1) 有形固定資産	483,724
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	566,539
(1) 現金及び預金	512,031
(2) 未収金及び未収収益	52,863
(3) 貸倒引当金()	252
(4) 貯蔵品	1,897
3 繰延資産	-
負債合計	166,642
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	29,274
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	19,481
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	8,644
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	137,368
(1) 長期前受金	329,563
(2) 長期前受金収益化累計額()	192,195
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	883,621
1 本金	1,150,840
2 剰余金	-267,219
(1) 資本剰余金	26,629
(2) 利益剰余金	-293,848
負債・資本合計	1,050,263
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	194,334	194,434
資本勘定繰入	23,396	23,396
計	217,730	217,830

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	95.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名	美郷町				
病院名	西郷病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,868 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	29	62.3	56.6	60.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	29	62.3	56.6	60.1
平均在院日数(一般病床のみ)		15.6	15.5	15.6

設立団体の状況		
人口(人)	4,826	
決算規模(千円)	10,359,013	
標準財政規模(千円)	5,060,215	
財政力指数	0.19	
経常収支比率(%)	81.2	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	679,778			
1 経常収益	679,770			
(1) 医業収益	449,382			
(うち修正医業収益)	413,088			
入院収益	195,226			
外来収益	194,733			
診療収入計	389,959			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	59,423			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	230,388			
(うち国・都道府県補助金)	1,793			
(うち他会計補助・負担金)	205,475			
(うち長期前受金戻入)	20,016			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	8			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	706,191			
2 経常費用	706,191			
(1) 医業費用	685,747			
職員給与費	411,096	91.5	60.8	92.5
材料費	94,137	20.9	27.1	14.2
(うち薬品費)	54,607	12.2	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	33,837	7.5	11.8	5.8
減価償却費	53,378	11.9	8.6	13.4
経費	125,299	27.9	22.0	47.6
(うち委託料)	40,219	8.9	11.8	23.6
研究研修費	1,461			
資産減耗費	376			
(2) 医業外費用	20,444			
(うち支払利息)	2,970	0.7	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-26,421			
純損失	-26,413			
累積欠損金	153,905			
経常収支比率	96.3		93.0	95.6
医業収支比率	65.5		83.9	59.3
修正医業収支比率	60.2		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	35.6		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	53.8		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	35.6		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	62.0		81.6	60.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	957,286
1 固定資産	500,018
(1) 有形固定資産	499,421
(2) 無形固定資産	224
(3) 投資その他の資産	373
2 流動資産	457,268
(1) 現金及び預金	389,123
(2) 未収金及び未収収益	61,368
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	6,777
3 繰延資産	-
負債合計	361,551
1 固定負債	110,770
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	110,770
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	72,000
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	23,672
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	29,210
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	18,997
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	178,781
(1) 長期前受金	371,779
(2) 長期前受金収益化累計額()	192,998
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	595,735
1 資本金	741,140
2 剰余金	-145,405
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-145,405
負債・資本合計	957,286
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	241,769	241,769
資本勘定繰入	22,518	22,518
計	264,287	264,287

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	34.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名	西臼杵広域行政事務組合				
病院名	高千穂町国民健康保険病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,604 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	120	72.9	69.0	84.0
療養	-	-	-	71.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	72.9	69.0	77.9
平均在院日数(一般病床のみ)		20.9	22.3	25.3

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	1,090,198	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	88.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均	
総収益	2,312,511				
1 経常収益	2,312,511				
(1) 医業収益	1,978,368				
(うち修正医業収益)	1,928,368				
入院収益	1,051,103				
外来収益	799,335				
診療収入計	1,850,438				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	127,930				
(うち他会計負担金)	50,000				
(2) 医業外収益	334,143				
(うち国・都道府県補助金)	4,275				
(うち他会計補助・負担金)	228,031				
(うち長期前受金戻入)	89,449				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	2,425,579				
2 経常費用	2,406,881				
(1) 医業費用	2,309,037				
職員給与費	1,432,916	72.4	60.8	69.3	
材料費	322,391	16.3	27.1	18.4	
(うち薬品費)	170,745	8.6	14.8	8.7	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	151,646	7.7	11.8	9.1	
減価償却費	140,112	7.1	8.6	10.8	
経費	403,799	20.4	22.0	29.9	
(うち委託料)	214,352	10.8	11.8	13.7	
研究研修費	3,769				
資産減耗費	6,050				
(2) 医業外費用	97,844				
(うち支払利息)	15,648	0.8	0.9	1.0	
(3) 特別損失	18,698				
損益	-94,370				
純損益	-113,068				
累積欠損金	-				
経常収支比率	96.1		93.0	91.6	
医業収支比率	85.7		83.9	77.4	
修正医業収支比率	83.5		81.0	73.2	
他会計繰入金対経常収益比率	12.0		12.2	17.7	
他会計繰入金対医業収益比率	14.1		14.3	22.2	
他会計繰入金対総収益比率	12.0		12.3	17.9	
実質収益対経常費用比率	84.5		81.6	75.4	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	5,545,336
1 固定資産	3,949,574
(1) 有形固定資産	3,824,864
(2) 無形固定資産	1,359
(3) 投資その他の資産	123,351
2 流動資産	1,595,762
(1) 現金及び預金	1,076,022
(2) 未収金及び未収収益	488,584
(3) 貸倒引当金()	172
(4) 貯蔵品	31,299
3 繰延資産	-
負債合計	3,213,599
1 固定負債	1,050,359
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,009,629
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	40,730
2 流動負債	776,597
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	284,567
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	126,729
(6) リース債務	16,192
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	287,178
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,386,643
(1) 長期前受金	2,336,528
(2) 長期前受金収益化累計額()	949,885
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,331,737
1 本金	1,847,412
2 剰余金	484,325
(1) 資本剰余金	305,478
(2) 利益剰余金	178,847
負債・資本合計	5,545,336
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	295,222	278,031
資本勘定繰入	287,918	296,387
計	583,140	574,418

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名	西白杵広域行政事務組合		
病院名	日之影町国民健康保険病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	4,378 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	3	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	13:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	58.2
療養	50	75.0	74.1	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	75.0	74.1	58.2
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	22.0

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	1,090,198	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	88.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	654,989			
1 経常収益	654,989			
(1) 医業収益	494,177			
(うち修正医業収益)	461,277			
入院収益	280,459			
外来収益	159,685			
診療収入計	440,144			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	54,033			
(うち他会計負担金)	32,900			
(2) 医業外収益	160,812			
(うち国・都道府県補助金)	2,549			
(うち他会計補助・負担金)	137,786			
(うち長期前受金戻入)	17,777			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	737,810			
2 経常費用	737,805			
(1) 医業費用	705,727			
職員給与費	422,420	85.5	60.8	82.0
材料費	83,682	16.9	27.1	14.2
(うち薬品費)	69,432	14.1	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	14,250	2.9	11.8	6.1
減価償却費	61,344	12.4	8.6	12.5
経費	136,704	27.7	22.0	34.4
(うち委託料)	62,853	12.7	11.8	16.9
研究研修費	520			
資産減耗費	1,057			
(2) 医業外費用	32,078			
(うち支払利息)	3,078	0.6	0.9	1.2
(3) 特別損失	5			
損益	-82,816			
純損益	-82,821			
累積欠損金	17,018			
経常収支比率	88.8		93.0	93.1
医業収支比率	70.0		83.9	69.6
修正医業収支比率	65.4		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	26.1		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	34.5		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	26.1		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	65.6		81.6	68.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	5,545,336
1 固定資産	3,949,574
(1) 有形固定資産	3,824,864
(2) 無形固定資産	1,359
(3) 投資その他の資産	123,351
2 流動資産	1,595,762
(1) 現金及び預金	1,076,022
(2) 未収金及び未収収益	488,584
(3) 貸倒引当金()	172
(4) 貯蔵品	31,299
3 繰延資産	-
負債合計	3,213,599
1 固定負債	1,050,359
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,009,629
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	40,730
2 流動負債	776,597
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	284,567
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	126,729
(6) リース債務	16,192
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	287,178
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,386,643
(1) 長期前受金	2,336,528
(2) 長期前受金収益化累計額()	949,885
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,331,737
1 本金	1,847,412
2 剰余金	484,325
(1) 資本剰余金	305,478
(2) 利益剰余金	178,847
負債・資本合計	5,545,336
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	153,298	170,686
資本勘定繰入	36,766	38,506
計	190,064	209,192

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名	西臼杵広域行政事務組合				
病院名	五ヶ瀬町国民健康保険病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,771 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	32	47.4	43.4	52.5
療養	-	-	84.1	72.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	32	47.4	56.9	59.3
平均在院日数(一般病床のみ)		17.0	18.9	21.9

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	1,090,198	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	88.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	574,761			
1 経常収益	574,757			
(1) 医業収益	394,423			
(うち修正医業収益)	363,385			
入院収益	225,895			
外来収益	119,209			
診療収入計	345,104			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	49,319			
(うち他会計負担金)	31,038			
(2) 医業外収益	180,334			
(うち国・都道府県補助金)	4,921			
(うち他会計補助・負担金)	147,944			
(うち長期前受金戻入)	25,664			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	645,521			
2 経常費用	638,391			
(1) 医業費用	619,102			
職員給与費	388,945	98.6	60.8	92.5
材料費	32,764	8.3	27.1	14.2
(うち薬品費)	15,778	4.0	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	15,036	3.8	11.8	5.8
減価償却費	47,832	12.1	8.6	13.4
経費	147,987	37.5	22.0	47.6
(うち委託料)	90,358	22.9	11.8	23.6
研究研修費	275			
資産減耗費	1,299			
(2) 医業外費用	19,289			
(うち支払利息)	3,145	0.8	0.9	0.9
(3) 特別損失	7,130			
経常損益	-63,634			
純損益	-70,760			
累積欠損金	70,760			
経常収支比率	90.0		93.0	95.6
医業収支比率	63.7		83.9	59.3
修正医業収支比率	58.7		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	31.1		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	45.4		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	31.1		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	62.0		81.6	60.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	5,545,336
1 固定資産	3,949,574
(1) 有形固定資産	3,824,864
(2) 無形固定資産	1,359
(3) 投資その他の資産	123,351
2 流動資産	1,595,762
(1) 現金及び預金	1,076,022
(2) 未収金及び未収収益	488,584
(3) 貸倒引当金()	172
(4) 貯蔵品	31,299
3 繰延資産	-
負債合計	3,213,599
1 固定負債	1,050,359
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,009,629
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	40,730
2 流動負債	776,597
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	284,567
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	126,729
(6) リース債務	16,192
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	287,178
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,386,643
(1) 長期前受金	2,336,528
(2) 長期前受金収益化累計額()	949,885
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,331,737
1 本金	1,847,412
2 剰余金	484,325
(1) 資本剰余金	305,478
(2) 利益剰余金	178,847
負債・資本合計	5,545,336
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	164,202	178,982
資本勘定繰入	59,328	66,563
計	223,530	245,545

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。